



子どもの声が聞こえるお寺に

季刊 フトラ 第25号

浄土真宗本願寺派 少年連盟

少年連盟は「子どもの声が聞こえるお寺に」をテーマに活動をして
おります。

宗門では十二カ年にわたる宗門長期振興計画が、親鸞聖人七百五十
回大遠忌法要をご縁に策定され、その推進事項の一つに青少年教化対
策が挙げられ、「子どもたちに阿弥陀さまとご縁づくりの場を」と
全寺院子どもつどい「キッズサンガ」運動が取り組まれております。

これは当連盟の願いと軌を一にするものですから、この「季刊フ
トラ」によって少年教化情報の提供を続けていくこともその一環と考
えております。

この「季刊フトラ」は組定期便を通じて二十四号まで、全寺院に配
布をいたしておりましたが、今号より「宗報」の誌面に掲載させてい
ただくことになりました（五月号、八月号、十一月・十二月合併号、二月
号に掲載）。

このことにより、少年教化の輪が拡がり、一人でも多くの子どもた
ちが阿弥陀さまとご縁に遇ってもらえるよう、冊子版とは少し趣
を変えた形で情報提供を続けてまいります。

誌面への、ご意見ご要望などは少年連盟事務局までお知らせくださ
い。

◆ご縁づくり

宗門ではお寺を「子どもの居場所に」という願いのもと、全寺院「子どものつどい」キッズサンガ運動が取り組まれています。

宗門の中で少年教化は日曜学校・子ども会活動が長い歴史と実績を残しています。キッズサンガ運動は、その地道な少年教化の歩みの上で提唱されたものです。

少年教化活動の範疇を拡げて、一人でも多くの子どもたちに阿弥陀さまのご縁に遇ってもらおうとするのがキッズサンガで、これは「ご縁のある大人たちが、すべての子どもたちと接点を持ち、ともに阿弥陀さまのご縁に遇っていきこう」とする運動です。

「阿弥陀さまのご縁づくり」のキッズサンガ運動を取り組みやすくするために、三つの形のご縁づくりが勧められています。

- 日常生活でのご縁づくり
- 平素の法務、法要、行事でのご縁づくり
- 子どもに特化した集いでのご縁づくり

しかし、この三つのいずれかを行えば良いというものではなく、これらを相互に作用させて取り組んでこそ実のあるご縁づくりとなることでしょう。

この三つのご縁づくりについて、いろいろな事例を紹介していきます。

宗教的情操は環境によって育まれることを考えると、子どもたちが宗教的環境の中に、できるだけ在ることが可能な場を継続的に用意し続けることがとても大事なことだと思われれます。

お寺から、子どものいるご家庭に「朝夕のお参りをともにしましょう」「食事の時、手を合わせ食事の言葉を言いましょう」「頂き物をしたら、まず仏さまにお供えをしましょう」とか「お寺の法要や行事に子どもさんと

と一緒に」などのメッセージを伝え続けることから始めてはいかがでしょうか。

また、お寺に何かのご縁で来てくれた子どもたちに、積極的に「よくお参りしてくれたね」などの声掛けをする、あるいは、ご法事で子どもがいたなら、子どもに判る法話をするよう心掛けるなども「阿弥陀さまのご縁づくり」になると思っています。



● お寺の特色を生かしたご縁づくり

ラジオ体操

岐阜教区長良組 丸山寺

丸山寺は岐阜市北部の自然に恵まれた所に位置し、近隣は臨済宗や浄土宗などの割合が多い地域です。そのような中でさまざまな教化活動を展開されています。



す。今回は夏休みの「ラジオ体操とお経を習う会」としての取り組みを紹介します。

その始まりは前々住職の頃からで、参加者は幼児から中学生までおよそ三、四十名、お寺の前にある参拝者駐車場と本堂で行われます。

夏休みに入ると、毎朝元気な子どもたちが駐車場に集まりラジオ体操、そのま

ま本堂へ移動し正信偈の練習、これが地域の子どもたちの数十年来の日課になっていきます。参加者の中には、すでに三代にわたる子もいて、世代を超えた相続がうかがわれます。

また他宗の子も多



く、地域に深く根付いた取り組みでもあります。ご住職・坊守さまの「教化活動のベースは少年教化」「お寺は楽しいところ」の熱い思いが、お念仏の相続につながっています。子どもがお寺へ集うことにより、家庭の中へ、そして地域へとつながるお念仏とよろこびの輪が広がります。

キッズサンガのめざす「生き生きとしたお寺」の姿がここにはあります。

寺子屋子ども会

東京教区都留組 正福寺しょうふくじ

夏休み、冬休み、子どもたちに時間ができて親に時間がない、そして、お寺にとつて曜日にとらわれず開催日を決められ、法務との兼ね合いがつけやすいことから開催している「寺子屋子ども会」を紹介します。

始めるきっかけは、元先生というご門



徒と「寺子屋」が話題になり、「夏休みや冬休みの宿題を持ってお寺に集まってみたら……」という話になりスタート。

住職だけでは、宿題をみきれないが、元先生という心強いパートナーの助けを得て開催。実施してみると思わぬ反響があつたそうです。それは、保護者の評判が良いということ、「次回はうちの子の友達も誘ってきます」「宿題をみてもらつて助かりました」など、それ以来、定例行事となり続いているそうです。

勉強の合間には、ゲームなど楽しい時間を取り入れているが、最近では上級生が率先してゲームリーダーをつとめ、六十人を相手に見事に場を盛り上げてくれるそうです。

昨年の夏休みには、組内の若手僧侶が数名手伝いに訪れ、子どもたちとの交流を通し



て、今後も一緒に活動していこうということに、大人のスタッフは多ければ多いほど安心で心強く、そして、組内交流にもなつて「一石二鳥いちいせふたどりと住職は喜んでいました。

今後は、より多くの方々に協力をいただいて、広がりを持った活動にしていきたいということです。



子どもへのメッセージ

「つながるいのち」

らい君のおじいちゃんが、入院しました。今日は家族みんなで、病院にお出かけです。

らい君は、いつもおじいちゃんと一緒に、仏様にお参りしていました。お参りする時のおじいちゃんは、とっても嬉しそうでした。

らい君は、車の中でお父さんに聞きました。

「アミダ様はお出かけするのかな?」「どうして?」「おじいちゃん、寂しくないかなって思っ。」

病院について、らい君はおじいちゃんに、同じことを聞きました。

「心配してくれて、ありがとう。でも大丈夫だよ。」

「どうして。」

「アミダ様は、いつも私たちと一緒にいたいって考えられたんだよ。」

「ふ〜ん。」

「そして、ナモアミダブツという声になられたんだよ。」

「いつもお参りの時、称えている?」

「そう。だから、いつでも一緒にいてくださるんだよ。」

「じゃあ、病院にもお出かけしてくださるんだね。」

「もちろんだよ。だからおじいちゃんは、少しも寂しくないんだ。」

それを聞いたらい君は嬉しくなりました。そして小さな声で「ナモアミダブツ」と言ってみました。

アミダ様は、らい君のところへもお出かけしてくださっていました。



◆ 教材紹介 ◆

浄土真宗本願寺派少年連盟

せいいてん

改訂版

2010年4月1日発行

B6判 136ページ

定価 ¥315(本体300+税)

少年連盟加入単位会が教材として購入の場合は
¥252(本体240+税)

取り扱いは本願寺出版社

☎ 0120-464-583 FAX 075-341-7753

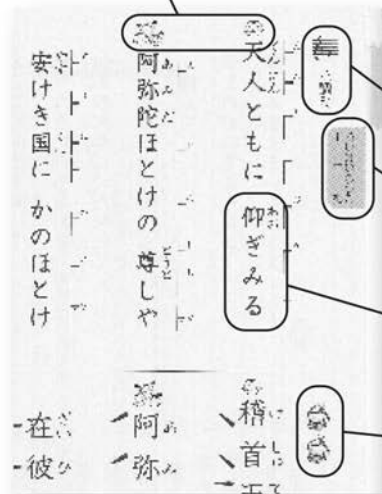


こどもの声が聞こえるお寺に
ピッタリの「せいいてん」を
現場の指導者がつくりました

>>> 左開き (ヨコ書き) >>>		<<< (タテ書き) 右開き <<<	
食事の言葉	仏教讃歌	正信念仏偈	作法
「食事の言葉」と解説	真宗宗歌 さんだんのうた 敬礼文三帰依 念仏 恩徳讃(新旧)	仏の子供 明日に向かつて 夕の歌 朝の歌	お焼香 気をつけること おつとめ(勤行) 念珠・せいいてん・式章 礼拝 合掌 姿勢
		三尊(本堂のお内陣例) 行譜「善導く回向」五線譜	フリーページ 「御文章」「領解文」、仏教讃歌 写真など自由に使用下さい
			みなさんへ(少年連盟総裁お裏方様) 浄土真宗の教章(私の歩む道) 三つのやくそく ちかい 浄土真宗の生活信条 正信念仏偈・しんじんのうた(一) らいはいのうた・十二礼 讃仏偈 重誓偈 浄土真宗の救いのよろこび (出典について・編集方針)

収録内容

● 調声・同音はプラくんブトリちゃんたちが
教えてください



こどもたちに
親しみやすく
わかりやすく
正確に

- 出音の五線表示
- カラーインデックスで
「オレンジのページを開けてね」と
声をかけることができます
- 文字の「とめる」「はねる」「はらう」が
きっちり学べる「教科書体」を
おもなフォントに選びました
- 視覚的な作法表示